

# 2125人の文京ファミリ誕生



創立者・島田依史子先生を語る島田学園長（仁愛ホール中高入学式にて）

3月11日に発生した東日本大震災後、入学式シーズンもなお、計画停電による交通機関の運行制限が続きました。文京学院では生徒・学生たちの身の安全を第一に考え、さらに、被災された方々のお気持ちを考慮して、入学式の縮小・場所の変更・日時を遅らせることに対応しました。

保護者にも列席の自粛をお願いし、極力華やかさを抑えた式でしたが、希望を胸に抱いて文京学院に入園・入学した新・文京ファミリは、生涯学習センターの1年間のカリキュラムで学ぶ文京生涯カレッジに入学された方々を併せて2125人のほりました。

## 4月2日「大学・短大・大学院」

交通手段が確実に確保できる保証がない状況から、今年初めて便の良い文京シビックセンター大ホールで、「入学式」として2回の式典が行われました。

午前は人間学部・保健医療技術学部、大学院人間学研究所・保健医療科学研究科。午後は経営学部・外国語学部・短期大学・大学院経営学研究科・外国語学研究科。度々発生する余震に備え、本学職員が会場の要所に立ち、万全の体制を整えました。

新入生は、開式5分前には私語ひとつすることなく、緘帳が上がるのを待ちました。今年度より、本学の学長は島田輝子先生から川邊信雄先生（中面「学園長・学長対談」参照）が引き継ぎ、「皆さんと私はいわば同期。皆さんが2年後・4年後にどのように成長しているか楽しみにしています」とエールを送りました。

さらに初めての試みとして、各学部代表新入生が自身の思いを宣誓する「マイ・ステイメント」が導入されました。午前の部では、大学院人間学研究所・池田乃子さん、大学院保健医療科学研究科・中井未来さん、人間学部・小島香奈子さん、保健医療技術学部・橋本貴紀さんが、背筋を伸ばして宣言。

午後の部では、大学院経営学研究科・王龍さん、大学院外国語学研究科・市岡優加さん、経営学部・大塚杏樹さん、外国語学部・沼野翔さん、短期大学・升本晶さんが力強く宣誓しました。

本学が15年間の歳月をかけて推進していく「新・文明の旅」プログラムに寄せ、訪問予定のブルガリア共和国ヴェリコ・タルノヴォ大学とソフィア大学の教授方、ルーマニア日本友好親善協会からのメッセージも紹介されました。司会者は、午前の部・森村幸夫



入校式で新入生を激励する川邊学長（写真提供＝片岡伸介さん）



「マイ・ステイメント」を宣言する新入生（写真提供＝片岡伸介さん）

会進行となりました。

その後の学生パフォーマンスの司会は、松原祝男・ふじみ野キャンパス学生会会長（午前）、高橋咲衣・本郷キャンパス学生会会長（午後）にバトンタッチ。ゴスペル部による校歌

斉唱に続き、吹奏楽部による歓迎演奏が披露され、会場からは拍手が起こりました。例年とは、場所も方法も違つ入校式を挙げるにあたり、本学教職員の見事なチームプレーが発揮されました。